カリキュラムマップ　A領域 教職教養領域 （令和元年度以降入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4																							
				教職論／教職ガイダンス	教育学部で学ぶこと	教育原論	学校教育心理学	教育社会学概説	教育経営・法規	教育課程論	道徳教育指導論	特別活動指導論	教育の方法および技術	生徒指導論・進路指導論	教育相談の理論と実際	特別支援教育基礎	総合的な学習の時間指導法	山陰地域の教育課題	新しい教育方法の探究	学校の“今”を学ぶ ―教育の理論と実践を結ぶ―	心理学概論	個を大切にするための心理学	グローバル教育A	グローバル教育B	グローバル教育C	グローバル教育D	グローバル教育入門	教職実践演習
教育実践力	学校理解（DP2）	教育の理念・教育史・思想の理解	教育の理念、教育史・思想に関する基礎理論・知識を習得している。	○		○		○	○				○			○				○								
		学校教育の社会的・制度的・経営的理解	学校教育の社会的・制度的・法律的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得している。	○		○		○	○	○						○				○								
		教職の意義	教職の意義について基礎的な理解をしている。	○	○	○		○	○											○								○
		教育課程の編成	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得している。							○						○	○			○								
	学習者理解（DP3）	心理・発達論的な子ども理解	子ども理解のために必要な心理・発達論的基礎知識を習得している。	○			○				○		○	○	○				○	○	○	○						
		学習集団の形成	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得している。	○								○	○							○								
		特別支援を必要とする子どもについての理解	特別な支援を必要とする学習者（子ども）を理解するために必要な基礎理論・知識を習得している。											○	○	○				○		○						
		生徒指導・進路指導	児童生徒指導や進路指導、教育相談に必要な基礎理論・知識を習得している。											○	○					○		○						
	教科基礎知識・技能（DP4）	道徳教育	道徳教育の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得している。								○									○		○						
		特別活動	特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得している。									○										○						
		総合的な学習の時間	「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得している。							○							○			○								
		情報教育機器の活用	情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得している。										○						○	○								
	授業実践（DP5）	学習者に対する教育学・心理学的理解	学習者（子ども）に対する教育学・心理学的理解に必要な基礎理論・知識を習得している。	○		○	○	○					○						○	○	○	○						
		学習指導法	学習指導法に係る基礎理論・知識を習得している。				○				○		○					○	○	○								○
対人関係力	リーダーシップ・協力（DP6）	リーダーシップ	集団で活動するさい、リーダーシップを発揮することができる。									○	○					○					○	○	○	○	○	○
		フォロワーシップ	集団で活動するさい、グループの仲間と協同してリーダーを支え、グループの課題に取り組むことができる。								○	○	○					○					○	○	○	○	○	○
		役割遂行	集団で活動するさい、率先して自らの役割をみつけたり、または与えられた役割をきちんとこなしたりすることができる。								○		○					○					○	○	○	○	○	
	社会参加（DP7）	地域社会への貢献	地域社会を取り巻く状況（自然・歴史・文化）を理解し、その社会に貢献することについて自分なりの考えや意欲を持っている。			○			○									○		○			○	○	○	○	○	○
	コミュニケーション（DP8）	論理的コミュニケーション	物事を論理的に考え、それを言葉によって表現することができる。		○	○			○		○							○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
		パフォーマンス	集団で活動するさい、積極的に行動を起こしたり、豊かな表情で人とかかわり合ったりすることができる。									○						○					○	○	○	○	○	
		訊ねる力	他の人の言葉に耳を傾け、それを理解したり、判らないときは訊ね返したりすることができる。			○								○	○			○				○	○	○	○	○	○	
		プレゼンテーション能力	自らが調べた結果を他者に適切に伝えるための基礎的な技能を身に付けている。														○		○				○	○	○	○	○	
自己深化力	探求力（DP9）	問題発見	教職に対する基本的な理解に基づいて、追究すべき問題をみつけることができる。			○			○	○		○			○					○		○	○	○	○	○	○	○
		仮説構築	疑問に思った事柄について、筋道の通った仮説を立てることができる。												○				○	○	○							
		調査分析・実証	疑問に思ったことや与えられた課題について、適切な方法で調査・分析し、実証する方法を身に付けている。		○												○											
	教師像・倫理（DP10）	教職の社会的役割・倫理	教職の社会的役割や倫理について理解している。	○		○			○					○				○		○			○	○	○	○	○	○
		人権・多様性への認識	多様な価値観の存在を認識し、人権を尊重する考え方を身につけている。			○					○			○		○				○		○	○	○	○	○	○	○
		理論と実践の往還	大学での学習（理論）と学校現場等での教育（実践）の双方を意識しながら自らの資質向上に取り組んでいる。	○			○						○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	リテラシー（DP11）	教育関係時事問題	広く教育をめぐる時事問題に関心を持ち、自分なりの意見を持つことができる。	○	○	○	○	○	○	○								○		○			○	○	○	○	○	○
		教育関係以外の時事問題	教育の領域以外の社会問題や時事問題に関心を持ち、自分なりの意見をもつことができる。						○												○	○	○	○	○	○	○	
		「探求力」を支える基礎的リテラシー	教育問題や社会問題等に関する情報を適切に収集し分析するための技法を身に付けている。		○					○							○											
		ITの活用に係る基礎的技能	コンピュータを活用して必要な情報収集やデータ処理、プレゼンテーションなどを行うことができる。										○				○		○			○						

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［ 小学校教育専攻 ］（令和元年度以降入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4																										
				学校教育実践学原論	初等教育実践基礎A	初等教育実践基礎B	初等教育実践基礎C	初等教育実践基礎D	初等教育実践基礎E	初等国語科内容構成研究	初等社会科内容構成研究	算数科内容構成研究	初等理科内容構成研究	生活科内容構成研究	初等家庭科内容構成研究	初等音楽科内容構成研究	図画工作科内容構成研究	初等体育科内容構成研究	初等英語科内容構成研究	初等国語科教育法概説	初等社会科教育法概説	算数科教育法概説	初等理科教育法概説	生活科教育法概説	初等家庭科教育法概説	初等音楽科教育法概説	図画工作科教育法概説	初等体育科教育法概説	初等英語科教育法概説	授業実践研究	卒業研究
教育実践力	学校理解（DP2）	学習指導要領	小学校各教科等の学習指導要領の概要を理解している。							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		教育課程	教育課程の編成に関する理論・知識を理解し、課題を発見することができる。			○		○																						
		学校教育の思想・制度・歴史	学校教育の思想・制度・歴史を理解している。		○	○																								
	学習者理解（DP3）	児童の発達	児童の発達について理解している。						○													○				○				
		学習集団	学習集団の形態や組織化に関して理解している。					○	○																					
		学習者の社会的背景	学習者を取り巻く社会的背景について理解している。	○		○																							○	
	教科基礎知識・技能（DP4）	教科横断的な知識と指導法	教科を横断的にとらえた基礎的な知識と指導法について理解している。				○	○																					○	
		国語科の知識と指導法	小学校国語科に関する基礎的な知識と指導法について理解している。							○										○										
		社会科の知識と指導法	小学校社会科に関する基礎的な知識と指導法について理解している。								○										○									
		算数科の知識と指導法	小学校算数科に関する基礎的な知識と指導法について理解している。									○										○								
		理科の知識と指導法	小学校理科に関する基礎的な知識と指導法について理解している。										○										○							
		生活科の知識と指導法	小学校生活科に関する基礎的な知識と指導法について理解している。											○										○						
		家庭科の知識と指導法	小学校家庭科に関する基礎的な知識と指導法について理解している。												○										○					
		音楽科の知識と指導法	小学校音楽科に関する基礎的な知識と指導法について理解している。													○										○				
		図工科の知識と指導法	小学校図工科に関する基礎的な知識と指導法について理解している。														○										○			
		体育科の知識と指導法	小学校体育科に関する基礎的な知識と指導法について理解している。															○										○		
		外国語科（外国語活動）の知識と指導法	小学校外国語科（外国語活動）に関する基礎的な知識と指導法について理解している。																○										○	
	授業実践（DP5）	初等教科教材研究	小学校各教科等に関する基礎的な知識・技能を用いて、学習者の反応を想定しながら教材を分析・開発することができる。				○										○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		初等教科授業構想	小学校各教科等の授業を構想し、指導案としてまとめることができる。																	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		初等教科授業展開	学習者との関係に基づいて、小学校各教科等の授業を展開することができる。																										○	
		初等教科授業評価	他者または自分の小学校各教科等の授業を評価し、改善することができる。					○																					○	
対人関係力	リーダーシップ・協力（DP6）	協働活動	グループ活動を通して協働で課題を達成することができる。						○					○																
	社会参加（DP7）	地域・社会との関わり	地域・社会との関わりの意義について理解し、それを実践できる。		○	○																							○	
	コミュニケーション（DP8）	論理的コミュニケーション	社会的な場面や研究的な場面において、論理的に表現したり応答したりすることができる。	○	○	○	○		○																				○	
		児童とのコミュニケーション	児童の発達や個性に応じた関わり方について考えたり、それを実践したりできる。						○																				○	
自己深化力	探求力（DP9）	問題意識・課題発見	教育について問題意識を持ち、課題を発見することができる。	○	○	○	○																						○	○
		調査・分析	課題について資料・文献を調査し、分析することができる。		○	○	○																						○	○
		課題解決	課題解決のための方策を考えることができる。	○	○	○	○								○														○	○
	教師像・倫理（DP10）	教師像	教師としてのあるべき姿を描くことができる。	○	○	○	○	○	○																					
	リテラシー（DP11）	アカデミックスキル	資料・文献の内容を批判的に読み解き、自分の考えを持って表現することができる。		○	○	○																						○	○
		コンピューターリテラシー	コンピューターを用いて、研究・実践資料を検索したり、資料を作成したりすることができる。	○				○																					○	○

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［ 特別支援教育専攻 ］（令和元年度以降入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4																														
				特別支援教育総論	知的障害児心理・病理研究	肢体不自由児心理・病理研究	病弱児心理・病理研究	知能・認知発達アセスメント法	特別支援心理・病理特殊講義	知的障害児教育研究	肢体不自由児教育研究	病弱児教育研究	特別支援教育総合演習	発達障害教育実践研究	発達障害教育実践演習	視覚障害児教育総論	聴覚障害児教育総論	初等国語科内容構成研究	初等社会科内容構成研究	算数科内容構成研究	初等理科内容構成研究	生活科内容構成研究	初等家庭科内容構成研究	初等音楽科内容構成研究	図画工作科内容構成研究	初等体育科内容構成研究	初等英語科内容構成研究	初等国語科教育法概説	初等社会科教育法概説	算数科教育法概説	初等理科教育法概説	生活科教育法概説	初等家庭科教育法概説	初等英語科教育法概説	初等音楽科教育法概説	図画工作科教育法概説	初等体育科教育法概説	卒業研究
教育実践力	学校理解（DP2）	特別支援教育の場の理解	特別支援教育の場について、また、就学の基準について説明できる。								○	○																							
		特別支援教育の教育課程理解	特別支援教育における教育課程の概要について説明できる（教育課程）。	○						○			○																						
	学習者理解（DP3）	障害の理解	各障害種別の診断基準や疾病・病理的要因、行動・心理的特徴などについて述べることができる。		○	○	○	○	○					○	○	○	○																		
		学習者理解の方法	観察や心理検査法など実態把握の方法について述べることができる（実態把握）。		○			○						○																					
		学習者を取り巻く社会的環境理解	学習者の家族関係や、学習者が関わる福祉・医療・労働等の支援制度・システムについて理解することができる（教育・福祉・医療・労働連携）。						○	○				○																					
		学習者の全体的理解	学習者の発達や障害、家族関係、関連ある福祉・保健・医療制度など、一人の人間を全体的に理解することができる。		○	○	○	○	○						○																				
	教科基礎知識・技能（DP4）	国語科の知識と指導法	小学校国語科に関する基礎的な知識と指導法について理解している。															○									○								
		算数科の知識と指導法	小学校算数科に関する基礎的な知識と指導法について理解している。																	○									○						
		社会科の知識と指導法	小学校社会科に関する基礎的な知識と指導法について理解している。																									○						
		理科の知識と指導法	小学校理科に関する基礎的な知識と指導法について理解している。																		○									○					
		生活科の知識と指導法	小学校生活科に関する基礎的な知識と指導法について理解している。																			○									○				
		音楽科の知識と指導法	小学校音楽科に関する基礎的な知識と指導法について理解している。																					○										○		
		図工科の知識と指導法	小学校図工科に関する基礎的な知識と指導法について理解している。																						○										○	
		体育科の知識と指導法	小学校体育科に関する基礎的な知識と指導法について理解している。																							○									○	
		家庭科の知識と指導法	小学校家庭科に関する基礎的な知識と指導法について理解している。																				○								○				
		外国語活動の知識と指導法	小学校英語科に関する基礎的な知識と指導法について理解している。																								○					○			
		教科の基礎知識・指導法	特別支援学校での教科教育に関する基礎的知識や指導法について知ることができる。	○																															
		領域・教科を合わせた指導の基礎知識・指導法	特別支援学校での領域・教科を合わせた指導に関する基礎的知識や指導法について知ることができる。	○							○	○				○																			
		自立活動の基礎知識・方法	自立活動に関する基礎知識や指導方法について知ることができる（自立活動）。			○	○				○	○				○	○																		
		進路指導の基礎知識	進路指導に関する基礎知識について知ることができる（進路指導）。													○	○																		
	授業実践（DP5）	初等教科教材研究	小学校各教科等に関する基礎的な知識・技能を用いて、学習者の反応を想定しながら教材を分析・開発することができる。															○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○				○			
		初等教科授業構想	小学校各教科等の授業を構想し、指導案としてまとめることができる。																										○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		初等教科授業展開	学習者との関係に基づいて、小学校各教科等の授業を展開することができる。																													○						
		初等教科授業評価	他者または自分の小学校各教科等の授業を評価し、改善することができる。																																			
		個別の指導計画内容理解	個別の指導計画の内容について述べることができる（個別の指導計画）。							○	○	○																										
		個別の教育支援計画内容理解	個別の教育支援計画の内容、および個別の指導計画との関連について述べることができる（個別の教育支援計画）。	○						○	○	○																										
		授業構想・展開基礎力	個別の指導計画との関連で授業を構想し指導案としてまとめることができる。																																			○
		授業評価・反省基礎力	他者や自分の授業を評価し、自分の授業向上に活かすことができる。																																			○
対人関係力	リーダーシップ・協力（DP6）	協同活動	グループ活動を通して協同で課題を達成することができる。																	○	○	○															
	社会参加（DP7）	専門的フィールド実践力	社会活動において特別支援教育の専門性を活かし参加する意識を持つことができる。												○																						
	コミュニケーション（DP8）	論理的自己表現力	論理立てて自分の意見や考えを述べたり、答えたりすることができる。												○																						
自己深化力	探求力（DP9）	現代的課題意識	特別支援教育に関わる現代的課題について、問題意識を持ち、それらについて述べることができる。										○	○	○																						○
		調査・分析・研究力	特別支援教育に関わる現代的課題について、主体的に資料・文献を収集し、分析・考察することができる。										○	○	○																						○
	教師像・倫理（DP10）	教師像	特別支援教育を専門とする教師の具体的な理想像を持つことができる。	○									○																								
	リテラシー（DP11）	パソコン活用の基本的技能	パソコンを活用して必要な資料の分析を行ったり、プレゼンテーションを行うことができる。												○																						○

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［ 国語科教育専攻 ］（令和元年度以降入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	日本語学			日本文学									漢文学			書写・書道		国語科教育学					国語科内容構成研究							書道								書道科教育法		
				日本語学A：日本語概説	日本語学BⅠ：日本語史	日本語学BⅡ：日本語史	日本文学史A：日本古典文学史	日本文学史B：日本近代文学史	日本文学演習AⅠ：古典文学講読	日本文学演習AⅡ：古典文学研究	日本文学演習BⅠ：近現代詩研究	日本文学演習BⅡ：近現代小説研究	日本文学特殊講義A：古典文学	日本文学特殊講義B：近代文学	日本文学特殊講義C（前期）	日本文学特殊講義C（後期）	漢文学基礎講義	漢文学演習	漢文学講義	書写演習Ⅰ	書写演習Ⅱ	中等国語科教育法概説	国語科コミュニケーション教育研究	国語科教材と学習者の研究	国語科授業設計研究	国語科教育臨床研究	国語科教育実践の研究	日本語学内容構成基礎研究	日本文学内容構成基礎研究A：古典文学	日本文学内容構成基礎研究B：近代文学	漢文学内容構成基礎研究	書写内容構成基礎研究	語彙・文法教材研究	日本文学教材研究A：古典文学	日本文学教材研究B：現代文学	漢字・漢文教材研究	書写教材研究	書道実習A	書道実習B	書道実習C	書道演習A	書道演習B	書道演習C	書道史	書論	書道科教育法概説	書道科教育法演習	卒業研究
教育実践力	学校理解（DP2）	国語科教育課程	学習指導要領（国語編）の概要を理解している。																			○	○	○																					
	学習者理解（DP3）	言語発達	母語の獲得、読み書きの発達について概要を理解している。	○																																							
	教科基礎知識・技能（DP4）	日本語・言語観	日本語の歴史・機能をふまえた、自分なりの日本語観、言語観を持っている。		○	○										○																											
		日本語学	日本語学についての基礎知識・技能を身につけている。	○	○	○																					○				○													
		日本近代文学	日本近代文学についての基礎知識・技能を身につけている。					○			○	○		○	○														○				○											
		日本古典文学	日本古典文学についての基礎知識・技能を身につけている。				○		○	○			○			○												○					○											
		漢文学	漢文学についての基礎知識・技能を身につけている。														○	○	○												○				○										
		書写書道	書写書道についての基礎知識・技能を身につけている。																	○	○											○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		国語教育学	国語教育学についての基礎知識・技能を身につけている。																				○	○	○	○	○																		
		日本語運用力（話す・聞く）	国語科教員として基礎的な話す力・聞く力を身につけている。		○	○																	○				○																	
		日本語運用力（書く）	国語科教員として基礎的な書く力を身につけている。	○	○	○		○			○	○		○						○	○		○					○	○	○		○			○		○	○	○	○	○	○			○	○	
		日本語運用力（読む）	国語科教員として基礎的な読む力を身につけている。	○	○	○	○	○			○	○		○	○	○	○	○	○					○				○	○	○					○											
	授業実践（DP5）	国語科教材分析力	国語科基礎知識技能を用いて、学習者の反応を想定しながら国語科の教材を分析することができる。																			○		○		○	○				○	○													
		国語科授業構想力	単元計画に沿って国語科の授業を構想し、指導案としてまとめることができる。																			○		○	○	○																		
		国語科授業展開力	学習者との関係に基づいて、国語科の授業を展開することができる。																						○	○																		
		国語科授業評価・反省	観察した授業や自分の行った授業について、分析したり、反省的に評価することができる。																			○				○	○																	
		国語科授業開発力	学習者の実態をふまえて、国語科の授業で用いる手引きや教材を開発することができる。																				○	○							○	○				○							○	○	
対人関係力	リーダーシップ・協力（DP6）	国語科協同実践研究力	テーマを設定して協同で教材や授業を開発することができる。																				○	○		○						○													
	社会参加（DP7）	国語科応用力	図書館や文学館など社会における言語文化に関わるための知識と態度を身につけている。											○																														
	コミュニケーション（DP8）	論理的コミュニケーション	社会的な場面および研究的な場面において、論理的に表現したり応答したりすることができる。	○					○	○							○													○		○			○											○
		学生間コミュニケーション	質疑応答などを通して互いに支援し、考えを深め合うことができる。						○	○							○					○	○	○	○	○	○	○	○		○		○			○										
自己深化力	探求力（DP9）	問題意識・知識	自分の専門領域について、基本的な理解に基づいて、追求すべき問題をみつけることができる。	○				○	○	○			○	○	○	○			○									○				○	○	○									○	○			○
		調査	問題を解決するために、必要な資料を探索・調査することができる。	○					○	○		○					○	○	○									○		○		○	○		○								○	○			○
		分析・処理	資料を解釈し、自分なりの見解を導くことができる。	○			○		○	○	○		○				○	○	○									○		○	○	○	○		○								○	○			○
	教師像・倫理（DP10）	国語科教師像	国語教師が学習者に対して果たす役割について自分なりの考えを持つことができる。																			○	○	○	○	○	○	○				○													
	リテラシー（DP11）	国語科リテラシー	目的に応じてさまざまな辞書や索引などを活用することができる。						○	○			○				○	○												○		○	○		○								○	○			○

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［ 英語科教育専攻 ］（令和元年度以降入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4																														
				英語コミュニケーション										英語学								英語文学				異文化理		英語科教育学					英語科内容構成研			
				英語コミュニケーションAⅠ：英会話	英語コミュニケーションAⅡ：英会話	英語コミュニケーションAⅢ：英会話	英語コミュニケーションAⅣ：英会話	英語コミュニケーションBⅠ：英作文	英語コミュニケーションBⅡ：英作文	英語コミュニケーションBⅢ：英作文	英語コミュニケーションBⅣ：英作文	英語コミュニケーションCⅠ：実践演習	英語コミュニケーションCⅡ：実践演習	英語学AⅠ：概説	英語学AⅡ：概説	英語学BⅠ：音声学	英語学BⅡ：音声学	英語学CⅠ：意味論・語用論	英語学CⅡ：意味論・語用論	英語学D：英語史	英語学E：統語論	英米文学AⅠ：概説	英米文学AⅡ：概説	英米文学BⅠ：鑑賞・批評	英米文学BⅡ：鑑賞・批評	異文化理解A：異文化の交流と理解	異文化理解B：異文化理解研究	英語科教育学AⅠ：概説	英語科教育学AⅡ：授業設計	英語科教育学BⅠ：学習者支援	英語科教育学BⅡ：コミュニケーション研究	英語科教育学C：研究法	英語科内容構成研究A：教材研究	英語科内容構成研究B：模擬授業	英語科内容構成研究C：実践研究	卒業研究
教育実践力	学校理解（DP2）	英語科教育課程	小学校、中学校、高等学校の学習指導要領の関連領域（外国語活動、外国語科）の概要と校種間の連携のあり方を理解している。																									○	○		○				○	
	学習者理解（DP3）	第二言語習得	第二言語習得理論とその活用について理解し、授業指導に生かすことができる。																									○	○						○	
	教科基礎知識・技能（DP4）	英語運用能力（聞く・話す）	英語教員として十分な英語運用能力（聞く・話す[やり取り・発表]）を身につけている。	○	○	○	○					○	○		○	○	○																		
		英語運用能力（読む・書く）	英語教員として十分な英語運用能力（読む・書く）を身につけている。					○	○	○	○	○	○		○							○	○	○	○		○									○
		英語文学	文学作品における英語表現や、英語が使われている国・地域の文化について理解している。																			○	○	○	○											
		英語史	英語の歴史的変遷および国際共通語としての英語の実態について理解している。																	○																
		英語学	音声や文法など、英語の言語的な仕組みを理解している。											○	○	○	○	○	○	○	○												○	○		
		英語科教育学	5領域の言語活動及び複数の領域を統合した言語活動、またそれらを支える音声、文字、語彙・表現、文法の指導について理解している。									○	○			○	○											○	○		○	○			○	
	授業実践（DP5）	英語科教材分析力	英語科基礎知識・技能を用いて、学習者の反応やつまづきを想定しながら英語科の教科書等を分析し、学習指導案を作成することができる。												○														○	○				○	○	○	
		英語科授業構想力	英語科における学習到達目標及び年間指導計画、単元計画、各時間の指導計画について理解し、学習指導案を作成することができる。																										○	○					○	○	
		英語科授業展開力	学習者の特性や習熟度に応じて、発問やフィードバックを工夫したり、ワークシート等の教材やICT等の教具を活用したりしながら英語科の授業を展開することができる。																										○	○					○	○	
		英語科授業評価・反省	英語科における観点別学習状況の評価及びそのための具体的な評価方法について理解するとともに、自分の行った授業を指導目標に基づいて反省的に分析、改善することができる。																										○	○					○	○	
対人関係力	リーダーシップ・協力（DP6）	英語科協同実践研究力	ALT等との効果的なティーム・ティーチングの授業について理解している。									○																		○							
	社会参加（DP7）	異文化理解	英語が使われている国・地域の文化的多様性、異文化コミュニケーションの現状と課題、異文化交流の意義について理解している。									○	○													○	○									
	コミュニケーション（DP8）	論理的コミュニケーション	社会的な場面および研究的な場面において、論理的に表現したり応答したりすることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○			○	○	○	○	○	○	○	○			○				
		子どもコミュニケーション	学習者の発達や個性に応じて関わることができる。																											○	○				○	
自己深化力	探求力（DP9）	問題意識・知識	自分の専門領域について、基本的な理解に基づいて、追究すべき問題を見つけることができる。															○	○			○	○	○	○	○	○				○	○				○
		調査	問題を解決するために、必要な資料を探索・調査することができる。																○			○	○	○	○	○	○			○	○	○				○
		分析・処理	資料を解釈し、自分なりの見解を導くことができる。																○			○	○	○	○	○	○				○	○				○
	教師像・倫理（DP10）	英語科教師像	英語教師が学習者に対して果たす役割について自分なりの考えを持っている。													○	○											○	○	○		○			○	
	リテラシー（DP11）	英語科リテラシー	適切な英語表現を検索したり、研究資料を作成したりすることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																	○		○			○	○

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［ 社会科教育専攻 ］（令和元年度以降入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー （DP）	階層3	達成目標	階層4																																																	
				日本史概説Ⅰ	日本史概説Ⅱ	日本史課題研究	日本史講読	東洋史概説Ⅰ	東洋史概説Ⅱ	アジア共生論	アジア共生史講読	西洋史概説Ⅰ	西洋史概説Ⅱ	共生社会史	西洋史講読	自然地理学概説Ⅰ	自然地理学概説Ⅱ	自然環境論	人文地理学概説Ⅰ	人文地理学概説Ⅱ	地域共生学	地誌学概説	風土環境論	地誌学実習Ⅰ	地誌学実習Ⅱ	地誌学実習Ⅲ	法律学概論	政治学概論Ⅰ	政治学概論Ⅱ	経済学概論	社会学基礎	社会学概論	文化人類学概論	現代社会論	フィールドワーク論	共生社会福祉学概論Ⅰ	共生社会福祉学概論Ⅱ	高齢者福祉論	共生思想論講読	生命倫理概論	倫理学概論	倫理学特講	比較宗教学概論	哲学・思想史概論	哲学・思想史特講	中等社会科教育法概説	中等社会科教育臨床	地理歴史科指導法	公民科指導法	地理歴史科教育法概説	公民科教育法概説	教科内容構成研究（歴史分野）	教科内容構成研究（地理分野）	教科内容構成研究（公民分野）	卒業研究
教育実践力	学校理解（DP2）	社会科教育課程	中学校学習指導要領（社会編）の概要を理解することができる。																																							○						○	○	○	
	学習者理解（DP3）	中高生の社会認識	中高生の社会的認識・態度を想定することができる。																																							○				○	○				
	教科基礎知識・技能（DP4）	歴史	既習の歴史分野の内容について理解することができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																													○		○		○		○			
		地理	既習の地理分野の内容について理解することができる。													○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																			○		○			○		
		公民	既習の公民分野の内容について理解することができる。																								○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○		○			○	
		社会科教育学	既習の社会科教育分野の内容について理解することができる。																																							○				○	○				
	授業実践（DP5）	社会系教科授業構想開発力	社会系教科の基礎知識・技能を用いて、学習者の反応を想定しながら教材を分析することができる。																																								○	○	○						
		社会系教科授業展開力	学習者との関係に基づいて、実際の社会系教科の授業を展開することができる。																																								○	○	○						
		社会系教科授業分析・評価・反省	他者または自分の社会系諸教科の授業を評価し、反省的に吟味・修正することができる。																																								○				○	○				
対人関係力	リーダーシップ・協力（DP6）	社会系教科協同授業実践力	他者と協同して社会系諸教科の授業を企画・運営し、展開することができる。																																								○								
	社会参加（DP7）	社会的実践力	地域資料作成や社会教育を通して地域社会に貢献するための調査能力や技能を身につけている。																					○	○	○							○																			
	コミュニケーション（DP8）	論理的コミュニケーション	社会的な場面や研究的な場面において、自分の考えを論理的に表現したり、応答したりすることができる。				○				○				○															○								○														
自己深化力	探求力（DP9）	基礎的関心	専門分野のさまざまな課題につき、基礎的な理解の下に関心を持って取り組むことができる。	○	○			○	○			○	○			○	○		○	○		○					○	○	○	○	○	○	○			○	○		○	○		○					○	○				
		問題意識	専門分野のさまざまな課題につき、明確な問題意識をもって主体的に取り組むことができる。			○	○			○	○			○	○			○			○		○										○	○			○	○			○			○		○	○	○					○
		調査・分析	研究仮説を設定しながら必要な資料を収集・分析するための基本的な技能を身につけている。																		○	○	○																													○
		文献読解	専門書を読みこなし、そこから得られた知識や情報をまとめたり、発表したりすることができる。				○				○				○																						○															○
		論理的思考	資料を系統的に整理し、筋道を立てて考察したり、構成し直したりすることができる。															○			○		○					○	○		○	○		○	○					○			○									○
	教師像・倫理（DP10）	社会科教師像	学び続ける社会科教師像について自分なりの考えを持つことができる。																																														○	○	○	
	リテラシー（DP11）	社会系教科リテラシー	コンピュータなどを用いて、研究・実践資料を収集したり、資料を作成したりすることができる。																			○		○	○	○																							○	○	○	○

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［ 数学科教育専攻 ］（令和元年度以降入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4																												
				代数学				幾何学				解析学				応用数学				教育情報学				数学科教育学				数学科内容構成研究				
				線型代数学Ⅰ	線型代数学Ⅱ	代数学Ⅰ	代数学Ⅱ	幾何学Ⅰ	幾何学Ⅱ	幾何学続論A	幾何学続論B	微分積分学Ⅰ	微分積分学Ⅱ	微分積分学Ⅲ	関数論	確率論・統計学Ⅰ	確率論・統計学Ⅱ	応用数学概論Ⅰ	応用数学概論Ⅱ	コンピュータⅠ	コンピュータⅡ	情報数学Ⅰ	情報数学Ⅱ	数学科教育法概説Ⅰ	数学科教育法概説Ⅱ	数学科教育法特講	数学科教育法臨床	数学科内容構成特論A	数理基礎教育内容構成特論B	数学科内容構成研究	数理基礎教育内容構成実践	卒業研究
			（年） （期）	1 後	2 前	2 後	3 前	1 後	2 前	2 後	3 前	1 後	2 前	2 後	3 前	2 前	2 後	1 後	2 前	2 前	2 後	1 後	2 前	2 前	2 後	3 前	3 後	1 後	2 前	3 通	4 前	4 通
教育実践力	学校理解（DP2）	数学科教育課程	中学校及び高等学校の数学科の学習指導要領の目標、主な内容、全体構造を理解している。																					○	○			○	○	○	○	○
	学習者理解（DP3）	学習者理解	現在の生徒の数学に対する認識・思考、学力がどの程度の水準にあるか理解している。																						○	○	○					
	教科基礎知識・技能（DP4）	代数学	受講した代数学の内容について理解している。	○	○	○	○																									
		幾何学	受講した幾何学の内容について理解している。					○	○	○	○																					
		解析学	受講した解析学の内容について理解している。									○	○	○	○																	
		応用数学	受講した応用数学の内容について理解している。													○	○	○	○													
		教育情報学	受講した教育情報学の内容について理解している。																	○	○	○	○									
		教科教育学	数学科授業デザインに関わる数学教育学の主要な理論や実践研究の動向を理解している																							○	○					
		数学言語力	数学の回答やレポートをきちんと書くことができる	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○
		問題発見・作成力	身近なことがらや新聞・テレビ等の内容などから、数学の題材を発見し、問題として定式化できる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○
	授業実践（DP5）	数学科教材研究力	専門的な数学の知識および数学教育学の知見を踏まえて数学科の教材研究ができる。																					○	○	○		○	○	○	○	○
		数学科授業デザイン力	学習指導案の構成を理解し、数学科の授業デザインを行い、学習指導案を作成できる。																					○	○	○		○	○	○	○	○
		指導上の留意点の理解	各指導内容の指導上の留意点を理解している。																					○	○	○						
		数学科における学習評価	数学科における学習評価について理解している。																								○					
		数学科授業改善力	自分の行った授業の振り返りを通して、授業改善をすることができる。																					○	○	○		○	○	○	○	○
		発展的内容の指導	数学の活用や発展的な内容などを、学習指導に取り入れることができる。																								○					
対人関係力	リーダーシップ・協力（DP6）	協働実践力	数学科の授業デザインから実施、振り返りに至るまで、他者と協働して取り組むことができる。																					○	○	○		○	○	○	○	○
	社会参加（DP7）	社会との関係	数学が社会に対してはたす役割や、数学が教科として教えられている理由を理解している。													○	○										○					
	コミュニケーション（DP8）	発表力	数学の題材について、人前で発表できる。																									○	○	○	○	○
		子どもコミュニケーション	学習者理解に基づき、適切に発問や支援ができる。																												○	
自己深化力	探求力（DP9）	問題意識・知識	数学・数学教育の本や雑誌などを読んでいる。																									○	○	○	○	○
		調査・分析	授業で習うことがらや教材に関係する本や資料を、自分で見つけ分析することができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○
	教師像・倫理（DP10）	関心	教科を教えるものとして、数学の歴史や社会で扱われる数学的なことがらなどに関心をもつ。													○	○	○	○			○	○									
	リテラシー（DP11）	計算	種々の計算法の原理を理解し、実行することができる。																									○	○	○	○	○
		式・図・グラフ理解	式や図・グラフで表現したり、数式や図・グラフを使いこなすことができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○
		情報機器及び教材の活用	数学科の特性に応じて適切に情報機器や教材の活用することを意図した授業デザインができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○					

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［ 理科教育専攻 ］（令和元年度以降入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4																															
				物理学Ⅰ	物理学Ⅱ	物理学演習	物理学基礎実験Ⅰ	物理学基礎実験Ⅱ	化学Ⅰ	化学Ⅱ	化学演習	化学基礎実験Ⅰ	化学基礎実験Ⅱ	生物学A	生物学B	生物学演習	生物学基礎実験Ⅰ	生物学基礎実験Ⅱ	地学Ⅰ	地学Ⅱ	地学演習	地学基礎実験Ⅰ	地学基礎実験Ⅱ	理科教育法概説	理科教育法臨床研究	理科教育学特講	理科教育観察・実験法	理科教育演習	理科内容構成研究Ⅰ（物質エネルギー科学）	理科内容構成研究Ⅱ（生命地球科学）	理科内容構成研究Ⅲ（総合）	自然科学史特講	理科教育研究法演習	理科教育論文講読演習	フィールド科学実習	卒業研究
			（年） （期）	1 後	2 前	2 後	1 後	2 前	2 前	2 後	3 前	2 前	2 後	2 後	2 前	3 前	2 前	2 後	1 後	2 前	3 前	2 前	2 後	2 前	2 後	2 後	3 前	3 後	2 後	3 前	3 前	2 後	3 後	4 前	2 前	4 通
教育実践力	学校理解（DP2）	理科教育課程1	学習指導要領（理科）の概要を理解することができる。																					○	○	○	○		○	○	○					
		理科教育課程2	現行の小学校、中学校、高等学校の理科教科書の内容を理解することができる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	学習者理解（DP3）	学習者の自然認識	児童・生徒の自然認識や科学的思考能力を評価・指導する能力を身につけることができる。																					○		○										○	
	教科基礎知識・技能（DP4）	物質エネルギー科学（物理学）	既習の物理学について、理科教師として十分な知識を修得することができる。	○	○	○																														
		物質エネルギー科学（物理学実験）	既習の物理学実験について、理科教師として十分な知識・技能を修得することができる。				○	○																												
		物質エネルギー科学（化学）	既習の化学について、理科教師として十分な知識を修得することができる。						○	○	○																									
		物質エネルギー科学（化学実験）	既習の化学実験について、理科教師として十分な知識・技能を修得することができる。									○	○																							
		生命地球科学（生物学）	既習の生物学について、理科教師として十分な知識を修得することができる。											○	○	○																				
		生命地球科学（生物学実験）	既習の生物学実験について、理科教師として十分な知識・技能を修得することができる。														○	○																		
		生命地球科学（地学）	既習の地学について、理科教師として十分な知識を修得することができる。																○	○	○															
		生命地球科学（地学実験）	既習の地学実験について、理科教師として十分な知識・技能を修得することができる。																			○	○													
		総合自然科学	既習の総合自然科学について、理科教師として十分な知識・技能を修得することができる。																													○	○	○	○	
		理科教育学実験	既習の理科教育学実験について、理科教師として十分な知識・技能を修得することができる。																							○	○									
		理科内容構成研究	既習の理科内容構成研究について、理科教師として十分な知識・技能を修得することができる。																										○	○	○					
	授業実践（DP5）	理科教材分析力	理科基礎知識技能を用いて、学習者の反応を想定しながら理科教材を分析することができる。																							○	○		○	○	○					
		理科授業構想力	単元計画に沿って理科の授業を構想し、指導案としてまとめる能力を身につけることができる。																						○	○	○	○								
		理科授業展開力	学習者との関係に基づいて、実際の理科の授業を展開する能力を身につけることができる。																						○	○										
		理科授業評価・反省	他者または自分の理科授業について、分析したり、反省的に評価したりすることができる。																						○			○	○	○	○					
		理科授業開発力	学習者の実態を踏まえて、理科の授業で用いる教材や資料等を開発・作成することができる。				○	○				○	○				○	○				○	○		○	○	○	○								
対人関係力	リーダーシップ・協力（DP6）	理科共同授業実践力	他者と共同して理科の授業を企画運営し、展開することができる。			○					○					○					○															
		理科共同研究力	他者と共同して研究計画を立案し、展開することができる。			○					○					○					○															
	社会参加（DP7）	地域社会への貢献	地域社会における自然教育活動に関する基本的な知識や態度を身につけることができる。																			○	○												○	
	コミュニケーション（DP8）	論理的コミュニケーション	自分の考えを論理的に表現することができる。			○					○					○					○					○							○	○		○
		子どもコミュニケーション	学習者の発達や個性に対応して、適切に接することができる。																						○											
自己深化力	探求力（DP9）	問題意識	自分の専門領域の基本的理解に基づいて、追及すべき問題を発見し、課題設定することができる。																														○	○		○
		調査	問題解決するために研究仮説を設定しながら、観察実験・資料収集の計画を立て実施することができる。	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○		○	○													○
		分析・処理	観察・実験結果や資料・文献を解釈し、自分なりの見解を導くことができる。				○	○				○	○				○	○				○	○										○	○		○
		表現の力	一連の探究により得られた結果を適切に表現し、他の人に伝えることができる。																																○	○
	教師像・倫理（DP10）	理科教師像	理科教師の社会的役割や倫理について理解することができる。																					○					○	○	○					
		理論と実践の往還	大学での学習（理論）と義務教育学校での実習（実践）の双方を意識しながら自らの資質向上に取り組むことができる。																					○				○								
	リテラシー（DP11）	理科教育リテラシー	理科教師として必要とされる基礎的基本的な力を身につけ、教育実践に参加することができる。																									○				○	○	○		

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［保健体育科教育専攻］（令和元年度以降入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4																																				
				スポーツ哲学	スポーツ哲学演習	スポーツ史	スポーツ社会学	スポーツ社会学演習	スポーツ心理学	スポーツ心理学演習	スポーツ心理学実験	運動生理学	運動生理学演習	運動生理学実験	スポーツバイオメカニクス	スポーツバイオメカニクス演習	スポーツバイオメカニクス実験	スポーツ指導論	コーチング論	栄養学	公衆衛生学	救急処置法	健康教育学	健康教育学演習	体操・器械運動	陸上競技	ダンス・からだほぐし	水泳	柔道	剣道	サッカー	バスケットボール	バレーボール	テニス・卓球・バドミントン	テニス応用	ソフトボール	スキー	野外活動	体操・ダンス教材研究	陸上・球技教材研究	武道教材研究	健康教育教材研究	保健体育科教育法概説Ａ（体育）	保健体育科教育法概説Ｂ（保健）	保健体育科教育法臨床	保健体育科教育法特講	卒業研究
教育実践力	学校理解（DP2）	保健体育科教育課程	中学校学習指導要領（保健体育編）の概要を理解する。																																						○	○			
	学習者理解（DP3）	学習者の技術・身体理解	学習者の技術や身体について理解する。						○			○			○			○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○			
	教科基礎知識・技能（DP4）	保健体育科教育学	保健体育科教育学の内容について理解する。																																						○	○	○	○	
		体育原理	体育原理の内容について理解する。	○	○																																								
		体育史	体育史の内容について理解する。			○																																							
		体育社会学	体育社会学の内容について理解する。				○	○																																					
		体育心理学	体育心理学の内容について理解する。						○	○	○																																		
		運動方法学	運動方法学の内容について理解する。												○			○	○																										
		運動生理学	運動生理学の内容について理解する。									○	○	○																															
		スポーツバイオメカニクス	スポーツバイオメカニクスの内容について理解する。												○	○	○																												
		栄養学	栄養学の内容について理解する。																	○			○																						
		救急処置法	救急処置法の内容について理解する。																			○																							
		衛生学及び公衆衛生学	衛生学及び公衆衛生学の内容について理解する。																		○																								
		学校保健	学校保健の内容について理解する。																			○	○	○																					
		器械運動	器械運動について基礎的な知識や技能を身につける。																						○												○								
		陸上運動	陸上運動について基礎的な知識や技能を身につける。																							○												○							
		野外運動	水泳、スキー、野外活動について基礎的な知識や技能を身につける。																								○								○	○										
		球技	球技について基礎的な知識や技能を身につける。																○											○	○	○	○	○	○				○							
		武道	武道について基礎的な知識や技能を身につける。																									○	○										○							
		ダンス	ダンスについて基礎的な知識や技能を身につける。																							○											○									
	授業実践（DP5）	保健体育科教材分析力	保健体育の基礎知識技能を用いて、学習者の反応を想定しながら保健体育科の教材を分析する能力を身につける。																																	○	○	○	○	○	○		○	
		保健体育科授業構想力	単元計画に沿って保健体育科の授業を構想し、指導案としてまとめることができる。															○																		○	○	○	○	○	○			
		保健体育科授業展開力	学習者との関係に基づいて、保健体育科の授業を展開することができる。																																	○	○	○	○			○		
		保健体育科授業評価力	観察した授業や自分の行った授業について、分析したり、反省的に評価することができる。																																	○	○	○	○				○	
		保健体育科授業開発力	学習者の実態をふまえ、保健体育科の授業で用いる手引や教材を開発・作成することができる。																																	○	○	○	○			○		
対人関係力	リーダーシップ・協力（DP6）	リーダーシップ	集団で活動するさい、リーダーシップを発揮することができる。																						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									
		役割遂行	集団で活動するさい、率先して自らの役割をはたし、仲間と協同してリーダーを支えたりすることができる。								○		○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									
	社会参加（DP7）	スポーツ活動企画・調整力	スポーツ活動を企画・調整するための知識や態度を身につける。				○	○										○	○									○					○	○		○	○	○	○	○					
	コミュニケーション（DP8）	言語的コミュニケーション	社会的な場面及び運動場面において、ことばや数字を用いて適切に表現したり応答したりすることができる。		○			○		○	○		○	○		○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
		非言語的コミュニケーション	社会的な場面及び運動場面において、表情や動き・示範などの言語以外の側面から対象者の課題を読み取ったり、必要な情報を伝達することができる。															○	○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
自己深化力	探求力（DP9）	問題意識・知識	自己の専門領域について基本的な理解に基づき、追求すべき問題を見つけることができる。	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○																				○	○
	教師像・倫理（DP10）	保健体育科教師の社会的役割	保健体育科教師が学習者に対して果たす役割について、適切で論理的な考えを持つことができる。		○				○									○																		○	○	○	○	○	○			
	リテラシー（DP11）	調査	問題を解決するために、必要な資料を探索・調査することができる。		○	○	○	○		○	○		○	○		○	○							○																					○
		分析・処理	資料を解釈し、論理的な見解を導くことができる。	○	○			○		○	○		○	○	○	○	○				○			○																					○

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［音楽科教育専攻］（令和元年度以降入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4 ソルフェージュ	声楽基礎演習	声楽応用演習	合唱	オペラ・オラトリオ概説	ピアノ基礎演習	ピアノ応用演習	キーボードハーモニー	弦楽器基礎演習	弦楽器応用演習	管楽器基礎演習	管楽器応用演習	打楽器基礎演習	打楽器応用演習	伴奏演習	合奏	和楽器演習	指揮法	作曲基礎理論	和声学	作編曲法	音楽史	音楽学概説	中等音楽科教育法概説	中等音楽科教育法演習	音楽科授業実践演習	音楽科教育法特講	音楽科教育総合演習	声楽内容構成研究	器楽内容構成研究	音楽プロデュース論	卒業研究
教育実践力	学校理解（DP2）	音楽科教育課程	学習指導要領（音楽）の概要を理解している。																							○	○	○	○						
	学習者理解（DP3）	児童・生徒の音楽表現	児童・生徒の音楽表現を評価・指導する能力を持っている。																							○	○	○		○	○	○			
	教科基礎知識・技能（DP4）	ソルフェージュ	既習のソルフェージュについて十分な能力を持っている。	○																															
		声楽	既習の声楽について、音楽教師として十分な知識・技能を持っている。		○	○		○																											
		合唱	既習の合唱について、音楽教師として十分な知識・技能を持っている。				○																												
		器楽Ⅰ（ピアノ）	既習のピアノについて、音楽教師として十分な知識・技能を持っている。						○	○	○							○																	
		器楽Ⅱ（管・弦・打）	既習の管弦打楽器について、音楽教師として十分な知識・技能を持っている。									○	○	○	○	○	○																		
		合奏	既習の合奏について、音楽教師として十分な知識・技能を持っている。																○																
		伴奏法	既習の伴奏法について、音楽教師として十分な知識・技能を持っている。						○	○	○							○																	
		和楽器	既習の和楽器について、音楽教師として十分な知識・技能を持っている。																	○															
		指揮法	既習の指揮法について、音楽教師として十分な知識・技能を持っている。																		○														
		作・編曲法	既習の作・編曲法の内容について理解し、実践する十分な能力を持っている。							○	○							○				○	○	○											
		音楽史	既習の音楽史の内容について理解している。																						○										
		音楽学	既習の音楽学の内容について理解している。																							○									
		複合領域実践力	音楽科各領域を複合的に実践する能力を持っている。	○																									○					○	
		音楽科教育学	既習の音楽科教育学の内容について理解している。																								○	○							
	授業実践（DP5）	音楽科教材分析力	音楽の授業を観察・記録する能力を持っている。																								○	○							
		音楽科授業構想力	音楽の授業を構想し、指導案としてまとめる能力を持っている。																								○	○	○						
		音楽科授業展開力	学習者との関係に基づいて、実際の音楽の授業を展開する能力を持っている。																									○	○						
		音楽科授業評価・反省	他者または自分の音楽の授業を分析したり、反省的に評価する能力を持っている。																									○	○	○					
		音楽科授業開発力	音楽の授業で用いる補助教材・楽譜等を開発・作成する能力を持っている。																			○	○	○			○	○	○						
対人関係力	リーダーシップ・協力（DP6）	音楽科協同実践・研究力	音楽教師同士、または他教科教師とのT.T.を企画し、展開する能力を持っている。																									○		○				○	
		学校行事の音楽活動	学校行事における音楽活動の企画・実践力を持っている。																											○				○	
	社会参加（DP7）	音楽活動企画・実践力	音楽部活動や音楽社会活動に関する企画・実践力を持っている。				○												○		○									○		○	○	○	
	コミュニケーション（DP8）	論理的コミュニケーション	自分の考えを論理的に表現することができる。																		○	○				○	○				○				
		子どもコミュニケーション	子どもたちの発達過程を考慮して、適切に接することができる。																									○	○			○	○		
自己深化力	探求力（DP9）	問題意識	自分の専門領域に関して、解決すべき問題を見つけることができる。		○	○			○	○		○	○	○	○	○	○							○							○				○
		音響理解	音環境に対する関心・理解がある。																							○								○	
		論理性	音楽作品・演奏等を論理的に捉える能力を持っている。						○	○	○											○	○			○									
		演奏・創作・表現の力	演奏・創作・表現いずれかの専門的な能力を持っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○				○											○
	教師像・倫理（DP10）	音楽科教師像	音楽教師の社会的役割について理解している。																								○	○		○	○			○	
	リテラシー（DP11）	音楽の情報収集・活用	音楽に関連する正しい情報を収集し、活用する能力を持っている。					○																	○	○	○				○	○	○	○	○

カリキュラムマップ（B領域）主専攻領域［美術科教育専攻］（令和元年度以降入学生用）

階層1	階層2 ディプロマポリシー（DP）	階層3	達成目標	階層4																														
				基礎美術					絵画					彫刻					デザイン					工芸		美術理論		美術科教育				美術科内容構成研			
				絵画基礎概説	彫刻基礎概説	デザイン基礎概説	工芸基礎概説	芸術学基礎概説	絵画概論	絵画実習Ⅰ	絵画実習Ⅱ	絵画演習A	絵画演習B	彫刻概論	彫刻実習Ⅰ	彫刻実習Ⅱ	彫刻演習A	彫刻演習B	デザイン概論	デザイン実習Ⅰ	デザイン実習Ⅱ	デザイン演習A	デザイン演習B	工芸概論	工芸実習	美術理論概説	美術理論実習	美術科教育法概説	美術科教育法演習	美術科教材研究	美術科授業研究	美術科内容構成研究A	美術科内容構成研究B	美術科内容構成研究C	卒業研究
教育実践力	学校理解（DP2）	美術科教育課程	中学校学習指導要領（美術編）の概要を理解している。																									○	○						
	学習者理解（DP3）	学習者の表現理解	子どもや学習者の表現活動の発達を広く理解し、適切な指導ができる。																									○				○	○	○	
	教科基礎知識・技能（DP4）	基礎的芸術観	美術諸領域の基礎的な課題や問題とそれらの相互関係を理解している。	○	○	○	○	○	○					○					○					○		○									
		基礎的造形力	美術諸領域の基礎的な造形力を身につけている。	○	○	○	○			○	○				○	○				○	○				○										
		絵画	絵画に関する基礎的な知識・技能を習得している。	○					○	○	○																								
		彫刻	彫刻に関する基礎的な知識・技能を習得している。		○									○	○	○																			
		デザイン	デザインに関する基礎的な知識・技能を習得している。			○													○	○	○														
		工芸	工芸に関する基礎的な知識・技能を習得している。				○																	○	○										
		美術理論・美術史	美術理論・美術史に関する基礎的な知識を習得している。					○	○					○					○					○		○	○								
		美術科教育学	美術科教育学に関する基礎的な知識を習得している。																									○	○	○					
	授業実践（DP5）	美術科教材分析力	美術の基礎的な知識・技能を用いて、美術科の授業を観察・記録することができる。																											○	○				
		美術科授業構想力	美術科の授業を構想し、指導案にまとめることができる。																										○	○				○	
		美術科授業展開力	学習者とのかかわりに基づいて、美術科の授業を展開することができる。																										○	○				○	
		美術科授業評価・反省	観察授業や自分の行った授業について分析したり、反省的に評価することができる。																											○	○			○	
		美術科授業開発力	美術科授業の題材開発や、提示作品・教具づくりをすることができる。																										○	○		○	○		
対人関係力	リーダーシップ・協力（DP6）	美術科授業協同力	他者と協同して、美術科の題材開発や授業展開を工夫・改善することができる。																												○	○	○		
	社会参加（DP7）	社会参加型芸術活動	芸術活動の社会的役割を認識し、企画することができる。											○					○													○	○		
	コミュニケーション（DP8）	論理的コミュニケーション	自分の考えを、論理的に説明することができる。								○	○				○	○				○					○	○	○						○	
		プレゼンテーション	作品のコンセプトなどを、様々な手段を用いて他者に適切に伝えることができる。										○					○				○	○												○
		子どもコミュニケーション	子どもの発達段階を考慮して、発話や態度など適切に接することができる。																									○			○	○	○		
自己深化力	探求力（DP9）	問題意識の発見	美術専門領域においての問題を認識することができる。					○	○	○	○			○	○	○			○	○	○			○	○	○									
		問題意識の深化	美術専門領域においての問題意識、研究課題を設定することができる。									○	○				○	○				○	○				○				○				○
		知識と調査	美術専門領域において深化した知識を持ち、調査によって補うことができる。								○	○	○				○	○				○	○												○
		造形力	美術専門領域において深化した造形力を持ち、応用することができる。									○	○				○	○				○	○												○
	教師像・倫理（DP10）	美術教師の社会的役割	美術教師の社会的役割について理解している。																									○				○	○		
	リテラシー（DP11）	アカデミックスキル	コンピュータを利用するなどして資料文献を読み解き、それらを活用することができる。									○		○					○			○				○					○				○